



うれしいなあ～
きれいなおへや

▲増改築耐震補強などで新たな園舎(タンポポ保育園)

6月定例会

新議会 はじまる	14人体制で!	2～3
2年連続一般会計	予算規模100億円を超す	4～5
ズバリ町政を問う	初議会一般質問11人	7～12

わが町のきらっとさん!

高齢者の健康管理の一環として、歌って元気活動をしておられる「カラオケで歌おう会」を紹介します。



総合福祉センター(シーメイト)が、平成18年5月設立され、廣次照夫さんが、高齢者の健康管理の一環として、歌の指導をしておられます。会員みなさんの健康と楽しくおもしろく、なごみの絆を願い発足されたとのこと。カラオケで歌おう会は、サークルAは第1・第3週の木曜日。サークルBは第1・第3週の金曜日。サークルCは第2・第4週の木曜日。毎年秋には合同で発表会を開催し、会員や来場者に好評です。カラオケで健康づくりと仲間づくりを大切に活動されています。

楽しく歌って健康づくり

お知らせ

議員の寄附は禁止されています。

入園・入学・結婚・出産・餞別などの寄附はできません。

DVDを貸し出します!

町議会を撮影したDVDを貸し出します。議会初日と最終日および一般質問をDVDに収録しています。希望される方は、図書館・役場4階の議会事務局にお越しください。

お知らせ

次回の定例会は9月2日(予定)より

傍聴に是非お越しく下さい。議会傍聴は、町民が町政に参加する機会のひとつです。是非お越し下さい。車椅子席もあります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

「議会だより」についてのご意見をお待ちしております。
TEL 935-1001 FAX 935-7070
議会事務局は町役場4階です。
メールアドレス:gikai@town.shime.lg.jp

新議会 はじまる 14人体制で! 初議会 (5月9日)

厚生建設常任委員会

総務文教常任委員会



▲大西勇 大熊則雄 牛房良嗣
池邊満男 安河内信宏(副委員長) 丸山真智子(委員長)

▲二宮美津代 末藤省三 川崎博啓
古庄信一郎 助村千代子(委員長) 吉田大作(副委員長) 堤久美子

※議長は常任委員会には属しません



▲二宮副議長



▲大林議長

議長あいさつ

この度、議長に就任いたしました大林弘明です。
二宮美津代副議長とともにどうぞよろしく願います。
議員定数が16人から14人に減少し、議員一人ひとりの責任が増大いたしました。
議員自らの研鑽を深め審議・議決・監視といったチェック機能を一段と強化するとともに、町長と議会は二元代表制で車の両輪と言われるように、お互いに切磋琢磨し、町執行部と協力して町政をすすめていきたいと考えています。
最後に議会内の融和をはかり、町民の皆様が安心して暮らせる素晴らしい町になりますよう、議員一同力を合わせ頑張っていきます。
ご指導ご支援をお願い申し上げます。
任のごあいさついたします。

常任委員会

厚生建設常任委員会 (6人)	・住民課・福祉課・健康課 ・生活環境課・都市整備課 ・上下水道課	総務文教常任委員会 (7人)	・総務課・地域交流課 ・経営企画課 ・税務課・子育て支援課 ・学校教育課・社会教育課 ・会計課
--------------------------	--	--------------------------	---

委員会で調査・研究する項目(※付託項目は変わることもある)

1. 上下水道事業について ①上水道事業の経営について ②下水道事業の経営について 2. 都市計画街路「志免・宇美線」の促進について 3. 内水対策について 4. ゴミ減量とリサイクルについて 5. 障がい児・障がい者福祉について 6. 医療制度改革と健康づくりについて	1. 小・中学校耐震補強・大規模改造・増築工事について 2. 保育行政について 3. 地域コミュニティと商工の活性化について
--	--

議会運営委員会

- 議会運営に関すること
- 議会基本条例について

特別委員会

志免炭鉱ぼた山対策特別委員会	1. ぼた山に関する諸問題についての調査研究
福岡都市圏広域行政調査特別委員会	1. 福岡都市圏の広域行政に関する諸問題について
議会広報特別委員会	1. 議会広報の発行に関する事項について

常任委員会以外の各議員の役職一覧表(委員長 赤丸・副委員長 青丸)

平成23年6月24日現在

氏名	議会運営委員会	志免炭鉱ぼた山対策特別委員会	広域行政特別委員会	議会広報特別委員会	監査委員	北筑昇華苑組合議会	粕屋南部消防組合議会	衛生施設組合議会	宇美町・志免町財産組合議会	自治会館組合議会	介護保険広域連合議会	土地開発公社監事	社会福祉協議会理事	都市計画審議会	青少年問題協議会	農業委員	5町ブロック廃棄物対策協議会
【定数】	6	8	6	6	1	1	2	6	1	1	1	2	1	4	1	2	2
大林 弘明		○					○	○		○							○
二宮美津代	◎	○		○				○									
助村千代子	○							○								○	
吉田 大作		○	○											○			
川崎 博啓		○		◎			○										
堤 久美子	◎		○	◎										○			
古庄信一郎		○															
末藤 省三			◎									○					
丸山真智子	○							○	○								
安河内信宏		○	○	○										○			
大熊 則雄		◎		○			○						○				
池邊 満男	○							○								○	○
牛房 良嗣		◎	○								○	○					
大西 勇	○		◎	○	○									○			

2年連続予算 100億を超える

税込減 福祉関連 支出増

一般会計 107億300万円 (前年度比6%増)

※万円未満四捨五入

歳入約34億7,997万円、歳出約33億6,612万円が可決された。

【賛成】川崎・安河内・吉田・堤・大熊・助村・丸山・池邊・牛房・大西・古庄・二宮
【反対】末藤

第5回 定例会



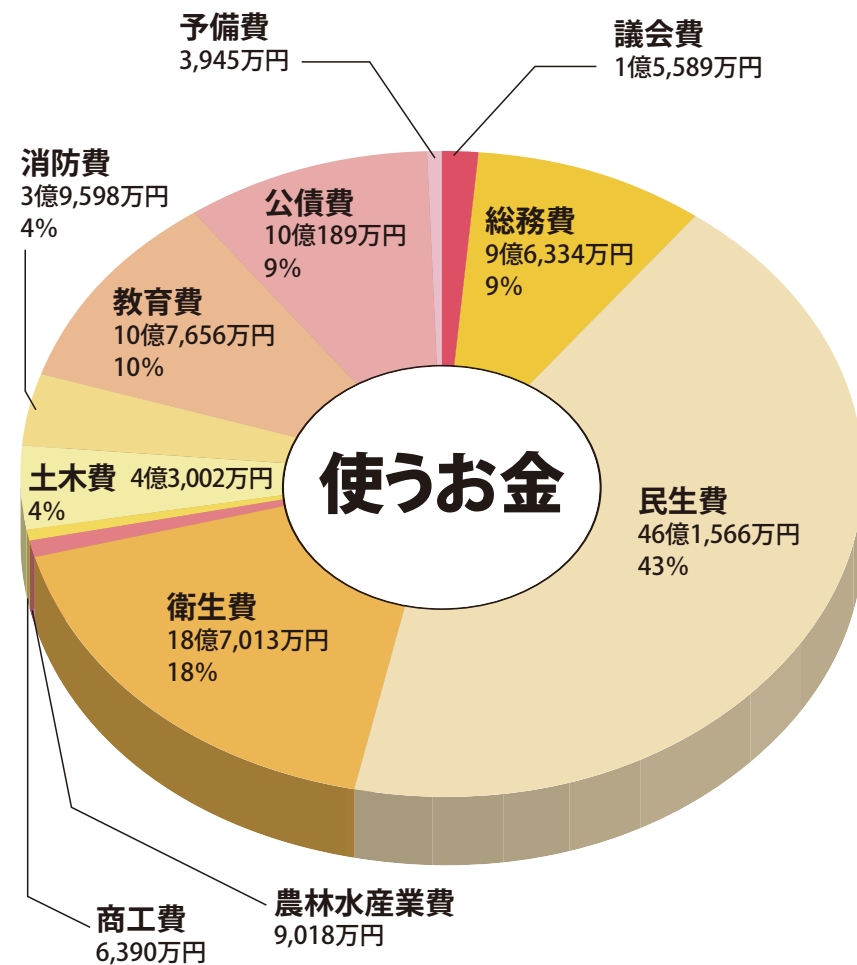
新設

予算常任委員会

定例会ごとに出される補正予算の審査がより早く継続的にでき、日常的に予算執行についての監視も可能となるため特別委員会ではなく、常任委員会とする。

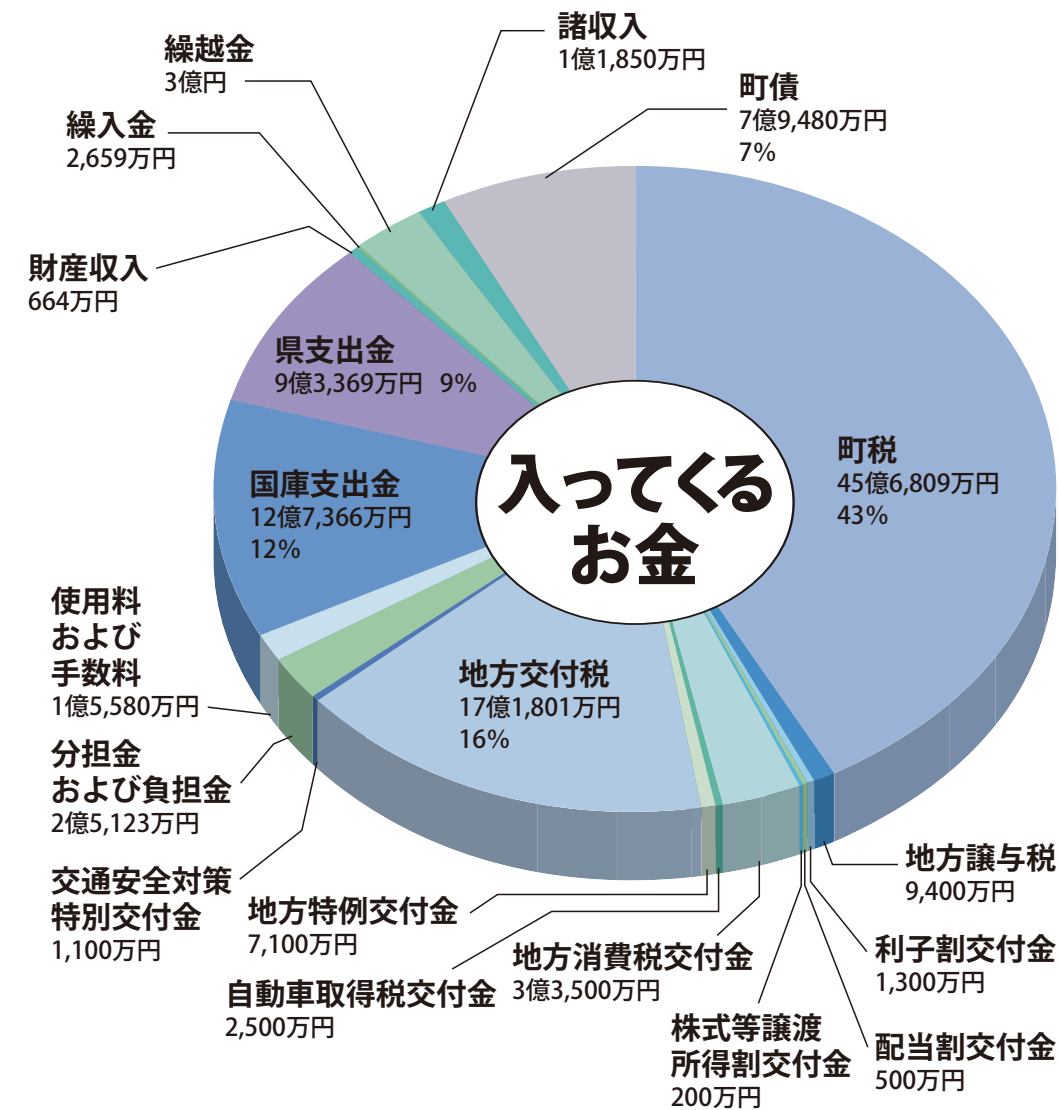
委員構成は、議長を除く13人。

委員長 古庄信一郎
副委員長 大西 勇



主な新規事業

- ・乳幼児虐待防止対策事業 256万円
- ・高齢者・障がい者福祉計画策定 634万円
- ・石橋台公民館建設（設計委託料） 624万円
- ・吉原農区活性化（農地の改善）事業 1,400万円
- ・塹坑櫓整備・保護計画策定 510万円



平成23年度 当初予算 総額 186億1,400万円

一般会計	107億300万円	下水道事業	16億4,300万円
国民健康保険	43億7,900万円	水道事業	14億6,900万円
後期高齢者医療	4億600万円		(100万未満四捨五入)
住宅新築資金	1,400万円		

6月定例会は10日から24日までの15日間の会期で開かれました。
議案9件・意見書2件を可決。副町長の選任に全員賛成で同意しました。
一般質問は6月13日から15日までの3日間で11人が行いました。

反対討論

末藤議員

保育サービスの実施を市場任せにする新システム、保育園の民営化。
わずか60キロ先に玄海原子力発電所を控えた我が町における避難や救助の対策。
防災無線などの整備等防災教育、住民への情報提供の不備の見直しを求める。

二学期制度の検証

答弁：調査、検討、検証が必要

池邊 2学期制度を平成18年度から導入して5年経過したが、具体的にその成果は何かの。町長 2学期制度で特に問題があるとは思っていない。現状の方向でいいの。



池邊 満男 議員

池邊 2学期制に対する学校、生徒、保護者それぞれの思いを現場の中で事情聴取されたのか。町長 教育環境整備の役割が強く、2学期制についての協議はしていない。

池邊 保護者は本当に2学期制で良かったのかと疑問視してある。学力はどうなっているのか。教育長 学力はその年によって変化があり、教育効果が目に見えない。池邊 5年たったこの制度を真剣に検証すべき。町長 調査、検討、検証する必要があると思う。副町長 しっかりとした検証が必要であるという考えを私も持っている。



▲二学期制の検証を

一般質問11人

ズバリ町政を問う

●一般質問とは議員が町政全般（一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など）について、町長など執行機関の考えを議員個人として聞いたことです。
●一般質問は会議録にもとづき議員個々の自由編集で掲載しております。詳細は会議録（HP・図書館・各公民館に置く）をご参照ください。掲載は質問順としています。

※役場内はクールビズです。

町の憲法

条例

志免町税条例の一部改正

東日本大震災による被災者の負担軽減等を図るため
・個人住民税・法人事業・法人住民税・固定資産税・都市計画税の軽減、申告、納税期間の延長。
・自動車税・軽自動車税の非課税など。
(志免町に個人の転入はない。法人は2件該当する)
全員賛成

国民健康保険税の一部改正

・国民健康保険税の課税限度額を4万円引き上げ77万円にする。
増額見込み額約657万となる。
全員賛成

専決処分

・出産一時金35万円を39万円に改め、平成23年3月までの経過措置としてひきあげられていた支給額を恒久化する。
全員賛成
※専決処分とは、緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めるとき、議決すべき事件を処分する。

主な議案

37号議案

志免中学校耐震補強・大規模改造、増築工事

契約金額4億2000万円
松本・小柳特定建設工事共同企業体

賛成多数で可決

賛成 (11人) 反対 (2人)

池邊・牛房・大西・古庄・二宮

反対 川崎・末藤

38号議案

西小学校耐震補強・大規模改造工事

契約金額3億5669万円
松本・小柳特定建設工事共同企業体

賛成多数で可決

賛成 (12人) 反対 (1人)

川崎・安河内・吉田・堤・大熊・助村・丸山・池邊・牛房・大西・古庄・二宮

反対 末藤

総務文教常任委員会では

第37号議案は賛成少数で否決
第38号議案は賛成多数で可決

・地元業者への配慮がない。
・2つの工事を同じ企業が落札でいいのか。
・80%の落札率では対応できないなどの意見がでた。

賛成討論 古庄議員

公共工事の競争入札には、建設業法により経営事項審査を受け、総合評価値を得て入札に参加している。地元建設業者は5社で800点以上は3社。しっかりとしたルール、規定に基づいて執行された入札であり、これを否決して、落札業者に何をもって否決したと言えるのか。

地場産業育成、地元企業に落札していただきたいが、議会は良識の府でなければならない。



▲通学バスに利用できないのか

通学問題

バス通学経費の助成

答弁：助成は考えなかった

大熊 亀山、御手洗、サ
ンリヤン等の志免中学校
のバス通学には経費がか
かるが、
学校教育課長 バス通学
の生徒約270人。西鉄
通学定期運賃は1ヶ月



大熊 則雄 議員

3060円から3780
円。年間約3万6000
円から4万5000円か
かる。
町長 バス通学は、子
どもの交通事故等の危険性
を少なくするためである
が経費がかかる。
シーメイトバスを巡回
させてはという質問だろ
うと思うが、質問の要旨
等検討した結果、シーメ
イトバスを通学バスに対
応できるかどうか等につ
いては即答しかねる。

大熊 福祉バスが使えな
いなら、負担が大きい
ので、行政はなんとかす
べきではないか。
教育長 これまで数件意
見があった。学校への通
学距離は文科省基準で定
められている。
小学校では約4キロ、
中学校では約6キロ以内
になっている。
志免町内は規定におさ
まっているので、通学に
関する助成をしてこ
なかった。



大西 勇 議員

空き家対策

危険廃屋早期解体を

答弁：対策を考える

大西 他の自治体で空き
家、危険廃屋に解体工事
費の一部を助成する事
業や、危険廃屋に対して
警察・消防署等の機関と
撤去命令を出す条例をつ
くっている自治体があ
る。空き家対策は条例や

補助金を出して解体促進
することが大事だ。
町長 地域の住環境、防
災防犯の視点から、国の
補助制度も勘案しながら
制度設計をし、対策を講
ずることを考えていく。
災害支援システム導入
答弁：検討する。
大西 災害時は何よりも
人命救助が最優先だがそ
の後は災害支援が大事。

今回の大震災で一番見直
されているのは、災害支
援システムです。これは
阪神淡路大震災の教訓と
実践をもとにつくられた。
羅災者証明、義援金、
固定資産税減免等に効果
を發揮している。このシ
ステムの早期導入を。
総務課長 住民基本台
帳・外国人登録台帳・家
屋台帳も合わせ検討する。



▲危険廃屋の解体支援を



▲こんなに広くいるのか駐車場
(宇美・志免浄化センター)



丸山 真智子 議員

土地借上料

見直しはないのか

答弁：非常に厳しい状況

丸山 住民は補助金の
カット、負担は増え痛み
を分かち合っている。
土地借上料の見直しで
財源を確保し、福祉を充
実させて欲しい。
社会情勢から浄化セン
ターの値上げは考えられ

丸山 住民は補助金の
カット、負担は増え痛み
を分かち合っている。
土地借上料の見直しで
財源を確保し、福祉を充
実させて欲しい。
社会情勢から浄化セン
ターの値上げは考えられ

【その他の質問】
●堅杭橋と産業の振興
丸山 給食費の未納額は
いくらか。
学校教育課長 小学校は

ない。
町長 地主の理解を得、
浄化センターを続けるこ
とができています。ご理解
していただきたい。
丸山 駐車場を返したら
1,000万円削減できる。

138万円、中学校は
203万円(平成22年度)
丸山 回収に先生へ負担
がかかっている。
就学援助の周知や子ど
も手当の活用等で公平性
を確保していただきたい。
教育長 子ども手当の活
用は進んでいない。それ
も考え取り組んでいく。

福岡と連携

町長のトップセールス

答弁：県へ強く働きかける



牛房 良嗣 議員

牛房 福岡には今100
年に一度のビッグチャン
スが到来。福岡空港の滑
走路増設、九州新幹線開
通、博多港へクルーズ船
急増。最隣接の志免町は
福岡市との連携を進め町

の発展に取り入れ、更に
志免・宇美線・空港地下
鉄の延伸など、町長の双
肩、トップセールスにか
かっている。
町長 情報をしっかりとつ
かみ、県への要請陳情を
強く働きかけていく。
英語力日本一を目指す
答弁：しっかりと進める

牛房 英語は世界の共通
語、特別の人の特別のこ
とばではない。町の私立
保育園では、週2回外国
人教師を呼び英語に親し
ませている。
各公民館でも英語の教
育を行っている。
将来に羽ばたく子ども
に英語力日本一を目指し
てほしい。
町長 英語の取り組みに
ついては国の方も分かっ
てきている。
おくれをとらないよう
進める。



▲リズムによってゲーム感覚で楽しい英会話の時間
(みなみざと保育園)



▲日本一の緑歩道めざして

緑道の整備をすべき

答弁：整備を進める

古庄 勝田線跡緑歩道は、緑の回遊都市創出のため事業費9億5千万円をかけ平成5年に整備。その後、毎年2千万円の管理費を投下、町歩きガイドにも掲載している



古庄 信一郎 議員

美弥跡地開発に提言を
答弁：意見を聞いて進める

町長 日本一の緑道整備を第一前提に、意見を聞きながら進める。

が、未整備箇所や凸凹も多く、十分に安全で且つ、当初の目的を達しているのか。
町長 先人の思いに充分答えきれない。
我が町の資源資産として外部にアピールするためにも、きちんと整備する。

462坪には、地元住民は大型車騒音や交通問題で20年以上苦しみ、緑歩道も112m未整備。今、新たに開発の話が進んでいるが、更地をそのままにしておく事もできず、より良い解決のために、行政として地元と情報共有し、アドバイスと指導をすべき。



二宮 美津代 議員

権利を学ぶ 学年毎のテキスト作成

答弁：学校現場と協議対応

二宮 子ども自身、自分の権利が大事にされていれば、他人の権利も大切にできると思う。子ども期に欠かせない権利の学習を学校ではどのようにされているのか。
学校教育課長 子育て支

援課と連携し、啓発、研修、CAP事業を行っている。
二宮 子どもの権利を知ることによって、自らを守る事ができると思う。学年に応じたテキストを作成し、授業の中に取り入れ学習できないか。
学校教育課長 道徳、人権教育の中で、志免町子どもの権利条例の学習をしている。テキストを使ってのプログラムはない。

二宮 子ども条例で謳われている子ども固有の権利行使できるように取り組んでほしい。
教育長 学校現場とも協議し取り組む。
【その他の質問】
● 空き家の適正な管理をするため条例の策定を。
● 地域自主防災組織の設置を促す取り組み。
● 防災士の育成。

※CAP事業とは暴力や犯罪から自分を守るための教育事業で4年生で実施



▲子どもの権利をわかりやすく



▲新設地域交流課(生涯学習1号館)



堤 久美子 議員

地域活性化 秀逸百選に子ども目線を

答弁：取り組みは可能

堤 県肝入りの今年度かすや中南部広域連携プロジェクトと事業の秀逸百選に、子ども目線で公募しては。
経営企画課長 広く公募するので可能
堤 広くは抽象的、学校

フェイスブック等活用を
答弁：しっかり検証する

堤 情報を持っている若者たちを取り込む手段に、フェイスブック等の活用できるように検討して欲しい。
堤 総務省でも推進されている。

等を取り組めば、町に対する愛着心、郷土愛につながる。この事業は着実に動いている。手を抜かず関係団体に呼びかけ6町間で活性化に向けて取り組むべき。

必要性は。
町長 大正町芸術祭のようなイベントに対して、フェイスブック等の活用はいいと思う。今回の東日本震災でクローズアップされたが、しっかり検証していかなければならない。

保育行政 届け出保育所に支援を

答弁：協議・検討したい

町長 子育て支援に貢献



助村 千代子 議員

投票率の向上の取り組み
答弁：考えていきたい。

町長 前向きに考えなければならぬと思う。
住民課長 検討課題の一つ。考えていきたい。

して頂いていると認識。
助村 届け出保育施設は公的財政支援はなにもなく、保護者の保育料のみで運営がなされ利用者の負担は重い。
保育料等への助成で利用者の負担軽減を。
町長 受け付け事務、投票用紙交付も若い人に行きたいと、高校生が行っている自治体もある。加えて検討願いたい。

助村 若人の投票管理者や立会人の選任をなぜ公募しないのか。
住民課長 努力不足で反省している。



▲園児への助成を

議会あれこれ

「ようこそ志免町議会へ」
山口県周防大島町議会より
研修にみえられました。

研修事項は
・議員削減に係る対応について
・削減後の住民の反応
・削減に伴う議会のメリット、デメリット
などで、議会運営委員会全員で対応しました。

周防大島町は平成16年4町で合併。56人から20人に議員定数を削減しているが、社会情勢など勘案し、定数削減を議長より諮問され調査、研究を行っているとのことでした。

定数削減の推移を説明しましたが、我が町とは町の面積、人口、予算規模など比較できない部分もあり、何を基準とするか苦慮する案件でした。

周防大島町では高投票率(80%)ですが、地域推薦など若人や女性が出にくい事情も察せられました。

志免町議員定数の推移

自	至	期間	定数	経緯
	昭和62年4月		22名	
昭和62年5月	平成11年4月	12年間	20名	昭和62年3月議会で陳情書が出され、62年4月4日臨時会にて議員提案により可決。
平成11年5月	平成19年4月	8年間	18名	平成10年9月議会で陳情書が出され10年12月議会にて議員提案により可決。
平成19年5月	平成23年4月	4年間	16名	平成18年12月議会にて議員提案により可決。
平成23年5月			14名	平成22年12月議会で請願が出され議員定数削減の請願審査特別委員会で審査し議員提案により可決。



新しく事務局体制が変わりました。
長 事務局長 吉川次長



二宮美津代 大西勇 大熊則雄 安河内信宏
川崎博啓(副委員長) 大林弘明(発行責任者) 堤久美子(委員長)

住民の願い

請願・要望・陳情・意見書

意見書	原子力発電所及び原子力関係施設の安全保障を求める	意見書	公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める
提出者	末藤 省三	提出者	大西 勇
要望内容	今回の原発事故を踏まえ、原子力発電所及び原子力関係施設の安全の確保並びに住民生活の安全・安心の確保のため、法的措置を強く要望する。	要望内容	大規模地震等の災害が発生した際、公立学校施設において地域住民の「安全で安心な避難生活」を提供するために、耐震化等による安全性能の向上と防災機能の強化が不可欠。 ・先進的取り組み事例の情報提供 ・財政支援制度の地方公共団体が利用しやすい窓口一元化など速やかに実施すること
採決結果	全員賛成 国へ意見書提出	採決結果	全員賛成 国へ意見書提出



▲志免町まで60km 他人事ではない



末藤 省三 議員

原子力発電 防災計画の見直しせよ

答弁：町は自分たちで守る

末藤 福島原発事故は、日本と世界の人々に大きな衝撃を与えた。放射能汚染による影響は長期にわたって続き、放射性物質の半減期は、セシウム137は30年、プルトニウムは88年かか

る。防災計画の見直しをただちにせよ。
町長 自分たちの町は自分たちで守るといふ気持ちをしつかり持つて、何もかもお任せするというわけにはいかないとと思う。

末藤 現在のテレビが7月24日をもって、国策で廃止になる。家電メー

地デジテレビを延期せよ。
答弁：電波法により廃止として保障している。
総務課長補佐 すべてのアナログ放送が廃止という事で承知している。

町の活性化 観光ルートの活性化

答弁：ぜひご提案を！



川崎 博啓 議員

川崎 交通アクセスに優れた町と、堅坑や旧志免興業所跡地を結びつけた観光化を図っては。
町長 地域遺産、地域資源をしつかり発掘して町の活性化に結び付く

川崎 弱者救済と子育て環境には地場産業の充実を図り、継続的な財基

ような提案をぜひいただきたい。
川崎 シーメイトの来場者数は年間30万人。100円でも使っていたらと福祉などに廻わすことができる。

町長 農業とか商工業の活性化が重要で、もっと行政が支援していかねばならない。町の産業の活性化については、致命的課題だと思う。



▲堅坑櫓と物産店